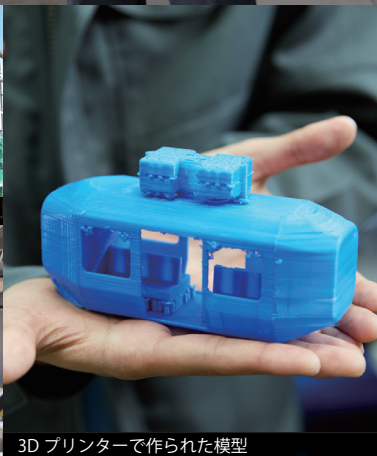


渋滞や満員電車がなくなり、スムーズで安全な移動ができる。しかも、施工にかかる費用と時間は鉄道の約10分の1——。そんな夢のような交通システム「自走型ロープウェイ」を開発中だ。2年前に仲間とZip Infrastructure株式会社を設立。今夏、実験用地で1人乗りロープウェイを自走させることに成功した。実現すれば、物資の運搬や災害救助などでの利用も期待できる。「5年後の大阪万博で、モノレールやリニモに次ぐ新たな交通システムとしてお披露目できればと思っています」。ただし、この夢も通過点にすぎない。「技術を応用し、2050年には宇宙エレベータを建設したい。誰もが宇宙へ行ける時代をつくるのが人生の目標なんです」。壮大な野心を胸に、卒業後は自身の会社で開発に専念する。



自走型ロープウェイのある街のイメージ図



3D プリンターで作られた模型



1人乗り用で実験。「最終的には十数人が乗れる予定です」